

Informed consent statement

Title: Gastric adenocarcinoma of fundic gland type with signet-ring cell carcinoma component

Written informed consent was obtained from patient.

The format of consent form is shown as following:

110203 0900-02

様 の 検 査 ・ 処 置 ・ 手 術 ・ 麻 酔 に 関 す る 説 明 ・ 同 意 書 (病 院 控)

説 明 日 平成29年7月6日 (木)

説 明 医 佐竹 寛明

○ 病 名 お よ び 症 状
早期胃癌

○ 検 査 ・ 処 置 ・ 手 術 (以 下、医 療 行 為) の 名 称 (詳 細 は 別 紙)
内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)もしくは内視鏡的粘膜切除術(EMR)

○ 上 記 医 療 行 為 の 予 定 日
平成29年7月6日 (木)

○ 麻 酔 使 用 の 有 無 と 種 類
☐ 無
☒ 有 (☐ 全身麻酔 ☒ 硬膜外麻酔 ☐ 局所麻酔 ☐ 全身麻酔+硬膜外麻酔)
☐ その他 :

○ 上 記 医 療 行 為 の 必 要 性、目 的、期 待 し う る 効 果 (詳 細 は 別 紙)

○ 上 記 医 療 行 為 に 伴 う 危 険 性、合 併 症、後 遺 症、他 の 方 法 等 に つ い て (詳 細 は 別 紙)

○ 備 考 ・ そ の 他

.....

※ 上 記 に よ り、現 在 必 要 な 医 療 処 置 (検 査 ・ 処 置 ・ 麻 酔 ・ 手 術) に つ い て の 説 明 書 を 受 け 取 り、理 解 で き ま し た の で、そ の 医 療 処 置 を 受 け、ま た 医 療 処 置 中 に 緊 急 の 処 置 が 必 要 と な っ た 場 合 に は 適 切 な 処 置 を 受 け る こ と に 併 せ て

☒ 同 意 し ま す ☐ 同 意 し ま せ ン

※ 抗 血 栓 薬 を 服 用 し て い る 場 合、抗 血 栓 薬 に よ る 出 血 の 可 能 性 と 体 薬 に よ る 血 栓 塞 栓 症 発 症 の 可 能 性 に つ い て 説 明 を 受 け 理 解 し た し た の で、場 合 に よ っ て は ヘパ リン 置 換 に よ る 入 院 治 療 の 必 要 が あ る こ と、ま た 検 査 ・ 生 検 の 延 期 が あ る こ と に

☒ 同 意 し ま す ☐ 同 意 し ま せ ン

※ 要 望

医 療 の 質 や 医 療 技 術 の 向 上 の 為、本 治 療 の 経 過 で 得 ら れ た 検 体、写 真、デ ー タ を 匿 名 化 し た う え で 学 術 集 会、研 究 会、論 文 及 び 学 術 団 体 の 認 定 資 格 等 の 資 料 と し て 使 用 さ せ て い た だ く こ と が あ り ま す

新 古 賀 病 院 院 長
古 賀 病 院 21 院 長
新 古 賀 クリニク 院 長

患 者 様 (代 諾 者) 署 名 : _____ (大)

調 査 者 署 名 : _____ (大)

平成29年 7 月 6 日

社会医療法人 大津会 消化器病センター

April. 12, 2018

Keita Kuri